

2018.(H30).5.3(木) 9/147

# 事業減額・廃止相次ぐ

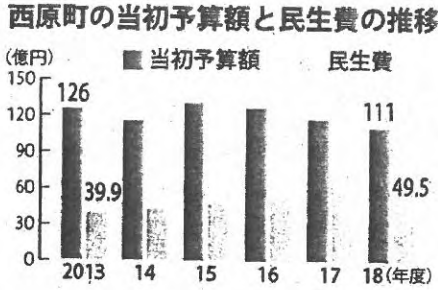
レポート  
2018

西原町の財政難が深刻化し、町事業の減額や廃止が相次いでいる。約10億円に上る国民健康保険(国保)の累積赤字が町財政を圧迫していることが大きな要因だ。さらに、ここ数年は膨れ上がる社会保障費などで概算要求時の歳入歳出に約10億円の乖離が出るなど、徹底的な歳出削減の必要性が迫られている。一方、識者は「扶助費は住民の生活の権利を保障するもので削るべきではない」と指摘する。

(浦添西原担当・伊禮由紀子)

## 西原町国保赤字が財政圧迫

町の2018年度当初予算は、緊縮財政のため、教育費や扶助費など町民サービスに影響する事業でも削減や廃止が目立った。町は就学援助の認定基準を非課税世帯に狭め、前年度比1570万円減の4294万円を盛り込んだ予算



案を3月定例会に提案。受給者の約500人に影響が及ぶことから、批判が集中した。最終的に町は方針を見直し、補正予算で就学援助費を前年度並みに増額する意向を示した。

ほかに一括交付金を活用した中学校の外国語指導助手(AIT)の廃止や学習支援員の減員、障がい者の運転免許取得や自動車改造費助成の制度廃止も打ち出し、関係団体から批判を招いた。

### 「断腸の思い」

## 「扶助費は権利」 識者「見直しへ」



障がい者運転免許取得の助成継続を求め、上間町長(右)に要請書を手渡す大城清さん(中央)、仲根建作さん(左)4月23日、西原町役場

字に加え、単年度の赤字も約3億円で推移する。一方で、緊急的な支出に備えるため、残高約6億5千万円の財調をこれ以上崩せないのが実情だ。

こうした厳しい現状を踏まえ、町は予算編成緊急アクションプランを策定。本年度は上間町長の給与を20%、大濱進教育長と小橋川明副町長の給与を10%カットし、町議の政務活動費(年間228万円)も全額削減された。今後も新規事業は基本的に認めず、既存事業の見直しを徹底する方針だ。

### 優先順位示せ

教育予算の確保を求める要望書を町に提出した西原町PTA連合会の伊集悟会長は「町財政の厳しさは理解できるが、教育費の削減は、支援が必要な児童生徒の生活や学習環境に影響を与えるのではないかと心配する。」

行財政に詳しい琉球大学の島袋純教授は「健康で文化的な生活を送る権利を保障するのが行政の役割。扶助費は優先順位が高く、基本的に削るべきではない」と指摘。「財政再建のため、身を切る改革や首長が予算削減の優先順位を政治判断で明確に示す必要がある」と話した。その上で「地方自治体の一般財源にしわ寄せが来ている国の一括交付金や国保制度も見直されるべきだ」と主張した。

10億円の収支不足を埋めるため、教育費や民生費などの削減にも踏み込まざるを得なかった。

町の本年度当初予算は、前年度比6億6400万円減の111億5300万円。徹底的な歳出削減で圧縮に努めたが、最終的には1億80336万円の収支不足を財政調整基金(財調)を切り崩して穴埋めした。

町が財政圧迫の主要因に挙げる国保の累積赤字は、県単位化に向け、14、16年度で計13億円を一般会計からの法定外繰入で補填した。それでも残りの約10億の累積赤

「断腸の思いで、聖域なき歳出削減に取り組まなければならぬ」。上間町長は苦しい懐事情に危機感を募らせて、理解を求める。本年度予算の概算要求時、

## ～ 町民の皆様へ ～

平成29年3月に策定した「西原町の中期財政シミュレーションと対策」では、これまでどおりに施策や事業を進めていった場合、平成30年度以降も大きな収支不足が生じると見込まれています。しかし、西原町にはその収支不足を補てんするための基金（貯金）に十分な蓄えがないことや国民健康保険特別会計の累積赤字問題、義務教育施設等の建替え等の課題も残っていることから、平成30年度の予算編成においては、様々な分野において歳出削減を図っており、今後しばらくは緊縮財政政策が続くことが予想されます。

これまで、町民の皆様の生活に直接関わるような事業については、できる限りサービス内容を維持できるよう努力してまいりましたが、やむを得ず事業の廃止・縮小や自己負担額の増となったものもございます。

町民の皆様におかれましては、西原町の持続的な発展のため、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

西原町長 上間 明

### 平成30年度予算における歳出削減事業・内容 ※特徴的なものや町民の皆様に特に影響のあるものを抜粋しています。

町政運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別職給与 … 町長の給与20%カット、副町長・教育長の給与10%カット</li> <li>● 人員体制 … 管理職手当の削減、職員時間外手当の削減、各課配置嘱託員・臨時職員の減</li> <li>● 議会運営事業 … 政務活動費の支給休止</li> <li>● 町財政援助団体 … 各種団体の補助金一律10%カット</li> <li>● 広報にしはら … 4色刷り→2色刷り(6月号より)</li> <li>● 企画事務運営事業 … 政策参与の配置休止</li> <li>● 平和音楽祭 … 開催方法の変更</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動児童館 … 移動児童館開催回数の減</li> <li>● 障害者移動支援事業 … 利用者自己負担額の増 1割→2割</li> <li>● 重度身体障害者移動支援事業 … 利用回数制限の設定</li> <li>● 高齢者外出支援サービス事業 … 利用者自己負担額及び利用回数制限の設定</li> <li>● 家族介護用品給付事業 … 助成月額上限の減 6千円→5千円</li> <li>● 高齢者予防接種事業 … 高齢者インフルエンザ予防接種お知らせ(通知)の廃止 肺炎球菌予防接種にかかる自己負担額の増 2千円→3千円</li> <li>● 敬老祝金交付事業 … 満80歳の方への支給廃止及びその他の減額(トウシビー・トーカチ 1万円→5千円、カジマヤー 2万円→1万円、満100歳 3万円→1万円)</li> <li>● 国民健康保険等 … はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧施術利用券の利用回数の変更(12回→6回)及び75歳以上(後期高齢者医療被保険者)にかかる助成金減額(1,000円→800円)</li> <li>● 予防事業(がん検診事業) … 集団がん検診の70歳以上の自己負担免除の廃止 21歳、41歳の女性がん検診無料クーポン券の廃止</li> <li>● 障害者自動車運転免許取得・改造費助成事業 … 事業廃止</li> <li>● 老人日常生活用具給付事業 … 事業廃止</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 町立中学校教育振興事業 … 外国語指導助手嘱託員配置の廃止</li> <li>● 社会教育学級講座事業 … ブックスタート事業の廃止</li> <li>● 中学生海外短期留学派遣事業 … 事業廃止</li> </ul>
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域型就業意識向上支援事業 … グッジョブわくわくワーク(イベント)開催方法の変更</li> <li>● 西原町産業まつり運営事業 … 事業廃止</li> </ul>

#### お知らせ

一部新聞でも報道されました「小・中学校の就学援助費の削減」については、議会での議論を受け、平成30年度においては、6月補正予算にて前年度並みの予算額を確保することとなりましたのでお知らせします。



平成29年度

# 国保会計決算見込み

## 国保の未来を考えよう!

### 厳しい状況の 国保累積赤字!

### 一般会計からの 赤字補てん!

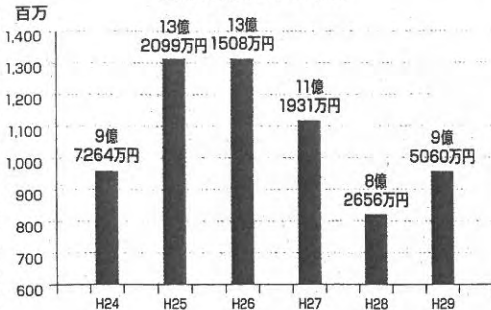
### 医療費も 毎年増加傾向!

**累積赤字  
9億5千万円**

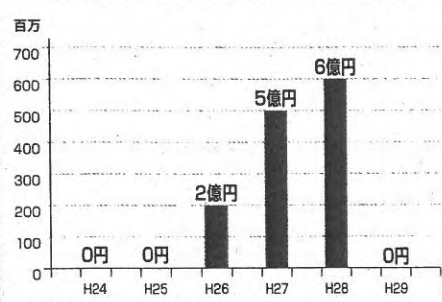
国保会計では、平成16年度から平成28年度まで連続の赤字となり、平成29年度決算においては約9億5千万円もの累積赤字の見込みとなっております。国保の県広域化に伴い、平成35年度までに累積赤字の解消を図らなければならず、たいへん厳しい財政状況が続いています。

赤字の増大は、国保会計だけでなく町全体の財政にも大きな影響を及ぼしています。一般会計から平成27年度に5億円、平成28年度には6億円もの赤字補てんを実施しました。しかし一般会計にも余裕はなく、平成29年度において実施することはできませんでしたが、赤字補てんは今後も必要不可欠となります。

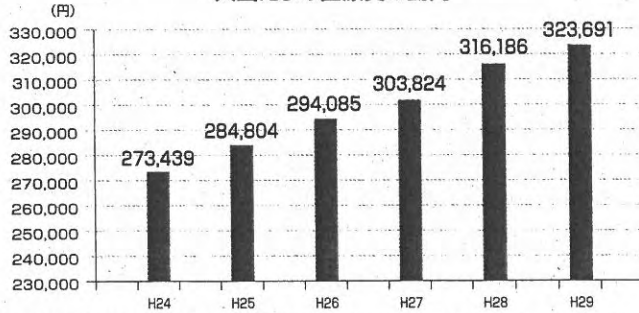
国保累積赤字の推移



一般会計からの赤字補てん繰入額の推移



一人当たりの医療費の動向



西原町の医療費も毎年増え続けているね!  
医療費全体では横ばいとなっているんだけど、一人当たりの医療費は増加に歯止めがかからないんだ。  
赤字を減らすためにも医療費を下げていきたいけど、いったいどうしたらいいんだろう?



## 赤字解消のために…国保加入者のみなさまへのお願い!

- ◇重複受診をやめましょう!…複数の病院を受診する前に、医師と相談し適正な受診を心がけましょう。
  - ◇ジェネリック医薬品を利用しましょう!…同じ効き目で財布に優しいジェネリック医薬品を利用しましょう。
  - ◇年に一度は健康診断を受けましょう!…特定健診や職場健診を受診して、自分の体のことを把握し、生活習慣病を予防しましょう。
  - ◇国保税を期限内に納めましょう!…国保は国保税で運営が成り立っています。期限内の納付にご協力ください。
- ※現在本町では第二期データヘルス計画を策定し、効果的な保健事業に取り組んでいます。詳細については、広報にしはら7月号に掲載します。

【お問い合わせ】 福祉部 福祉保険課 国民健康保険係 ☎911-9163

# 今年度の主な事業

## ● 平和で人間性豊かなまちづくり

- ★特別支援教育支援員派遣事業 2,626万円  
特別な支援を必要とする児童生徒に対し、支援員の配置を行います。
- ★町立小学校教育振興事業 1,646万円  
小学校英会話指導講師の派遣や学力検査などを行います。
- ・坂田幼稚園改造防音事業 804万円  
坂田幼稚園の騒音対策のため、防音工事を行います。
- ・内間御殿整備事業 1,038万円  
国指定文化財内間御殿の整備を行います。

## ● 安全で環境にやさしいまちづくり

- ・南部広域行政組合負担金事業 2億3,783万円  
ごみ焼却施設や最終処分場建設などに対する運営費負担金です。  
※平成30年度より東部清掃施設組合は南部広域行政組合へ統合されました。
- ★道路照明灯及び防犯灯LED化推進事業 4,000万円  
道路照明灯などをLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出抑制を図ります。
- ・公共下水道特別会計繰出事業 2億1,985万円  
下水道接続などの事業を行っている公共下水道特別会計に一般会計から予算を繰り出します。

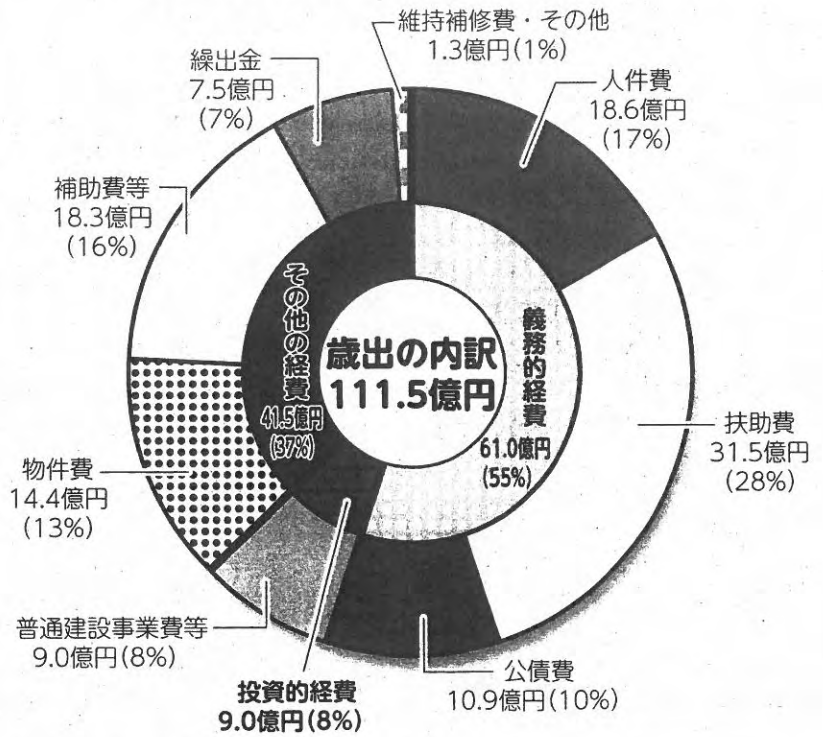
## ● 健康と福祉のまちづくり

- ・障害者自立支援給付費等給付事業 7億8,379万円  
障がいのある方が安定した生活を営めるよう支援を行います。
- ・障害児通所給付費等支援事業 1億7,235万円  
障がい児が安定した生活を営めるよう支援を行います。
- ・放課後児童健全育成事業 1億181万円  
放課後に子どもたちが安心して過ごせるよう、放課後児童クラブへ補助を行います。
- ・西原町子ども貧困緊急対策支援事業 1,592万円  
子どもの居場所づくりを中心に、貧困世帯の支援を行います。
- ・私立分児童運営費負担事業 11億9,398万円  
認可保育園の運営にかかる経費を負担します。
- ・保育所建設事業補助金交付事業 1億3,819万円  
新規認可保育所建設費に対し補助金の交付を行います。

## ● 豊かで活力のあるまちづくり

- ★農水産物流通・加工・観光拠点施設整備事業 3億1,900万円  
地産地消の推進、観光拠点としての農水産物流通・加工・観光拠点施設の整備を行います。
- ★地域型就業意識向上支援事業 468万円  
NS2BP（西原学生ソーシャルビジネスプロジェクト）の活動を通して、産官学の協力を得ながら自己の就業意識の向上を目指す若者を支援します。
- ・小波津川改修事業 1億5,488万円  
小波津川河川の改修事業を行い、周辺地域の景観や安全を守ります。
- ・都市計画事務運営事業 2,105万円  
企業誘致を図るため、西原町都市計画マスタープランの見直しや兼久マリンタウン線沿線地区用途見直しの検討を行います。
- ・西原西地区土地区画整理事業（特別会計） 1億7,044万円  
西原西地区（棚原・徳佐田・翁長の一部）の区画整理を行い、町のさらなる発展を図ります。

# ❖ 歳出（一般会計） ❖



前年度当初予算との主な比較  
扶助費+0.6億円、普通建設事業費▲1.7億円、物件費▲1.1億円、繰出金▲2.6億円

## 用語解説（歳出）

人件費	特別職（三役）、職員、議員などの給料・手当に係るお金
扶助費	児童福祉、障がい者福祉、老人福祉、保育所運営などに係るお金
公債費	町債（町の借金）の返済に係るお金
普通建設事業費	道路、橋りょう、学校などの施設整備に係るお金
物件費	物品の購入や光熱水費の支払い、事業の委託などに係るお金
補助費等	東部消防組合などの一部事務組合への負担金や各種団体への補助金などに係るお金
繰出金	一般会計から国民健康保険などの特別会計へ支出されるお金
維持補修費	道路や学校など、町が管理する公共施設の維持補修に係るお金
その他	災害復旧、基金（町の貯金）の積立などに係るお金

【参考】平成30年度財政調整基金残高（4月1日現在）：6億3,981万円

# ¥ 西原町の家計簿

医療・介護・保育費（扶助費）	7.1万円
子どもへの仕送り（補助費・繰出金）	5.8万円
食費（人件費）	4.2万円
光熱水費・通信費・日用品等（物件費）	3.2万円
ローンの返済（公債費）	2.4万円
家のリフォーム費用（普通建設事業費等）	2.0万円
家電等修理代（維持補修費・その他）	0.3万円
<b>合計</b>	<b>25万円</b>

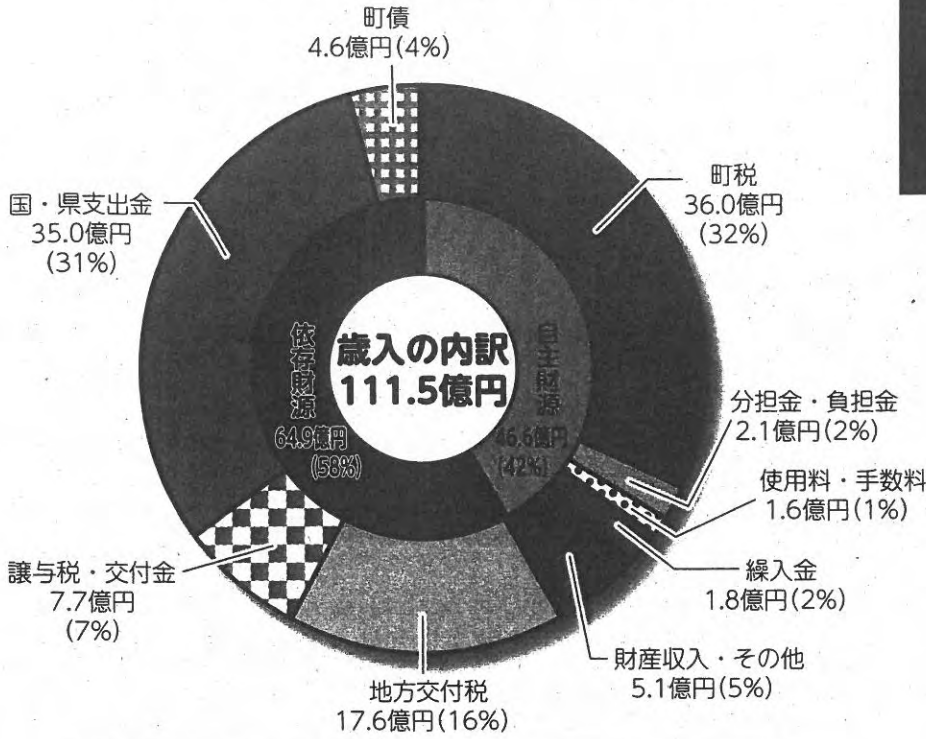
★については（事業内の一部含む）、一括交付金事業として決定を経たうえでの実施となります。

貯金残高17.2万円（【参考】を年収換算）



# ❖ 歳入(一般会計) ❖

# 平成30年度 西原町 当初予算の 概要



前年度当初予算との主な比較  
町税+0.5億円、繰入金▲3.9億円、国・県支出金▲1.2億円、町債▲0.8億円

## 用語解説 (歳入)

町 税	町民税、固定資産税、軽自動車税などの税金
分担金・負担金	町が行う特定のサービスを受けた方が納付するお金(保育料など)
使用料・手数料	町の施設の使用や住民票発行など、利用した方が支払うお金
繰入金	基金(町の貯金)を取り崩して、繰り入れるお金
財産収入	町が所有する財産の売払いや貸付、売電などによる収入
地方交付税	どの地域でも一定の行政サービスが受けられるよう、国税の一定の割合が市町村に交付されるもの
譲与税・交付金	国や県が徴収した税が、一定の基準に基づき市町村に配分されるもの
国・県支出金	特定の目的の事業などの財源として、国や県から交付されるお金
町 債	事業を行うために、国や銀行などから借り入れるお金(町の借金)
そ の 他	寄附金、繰越金、諸収入など

平成30年度の一般会計当初予算は前年度比5.6%減▲6億6400万円(の111.5億5300万円、特別会計当初予算は前年度比22.6%減▲15億7020万円)の53億7792万円を計上しました。

予算編成においては、大変厳しい財政状況ではありますが、「西原町まちづくり基本条例」で掲げた将来像の実現のため、「最少の経費で最大の効果を」を目標に編成しております。左記「今年度の主な事業」は、条例で定めた4つの基本方向に沿って紹介しています。

なお、予算の詳細・その他説明資料については西原町のホームページ(トップページ)↓財政↓予算で確認できます。

## 西原町が月収25万円(年収300万円)の家庭と想定した場合の ひと月の家計簿内訳はというと...

収入	給料	10.1万円
	世帯主給料(町税)	8.1万円
	パート・雑収入(使用料・負担金等)	2.0万円
	親からの援助 (国・県支出金・交付税等)	13.5万円
	ローンの借入(町債)	1.0万円
	貯金からの引き出し(繰入金)	0.4万円
	<b>合 計</b>	<b>25万円</b>

みんなの生活に直接  
かかわりの深い扶助  
分野に一番お金を使  
っているりん★  
でも、収入の半分以上を親からの援助に頼っていて、さらに貯金も残り少ないから今後はもっと節約しないとイケないりん...



単位: 億円

会計名	平成30年度	平成29年度	増減額
一般会計	111.5	118.2	▲6.6
特別会計	53.8	69.5	▲15.7
国民健康保険	44.1	55.1	▲11.0
公共下水道事業	5.2	6.6	▲1.4
土地区画整理事業	1.8	5.3	▲3.5
後期高齢者医療	2.7	2.5	0.2

※端数処理を行っているため、計算が合わない場合があります

### 一般会計

福祉・教育・道路整備など、町がすべき基本的な事業を処理する会計

### 特別会計

特定の事業を行うための歳入歳出を、一般会計と区別して処理する会計